

授業科目名	総合演習	担当教員	中尾 清	藤野一夫
必修の区分	必修		熊倉敬聡	古賀弥生
単位数	4単位		西崎伸子	直井岳人
授業の方法	演習		大社 充	小熊英国
開講年次	4年 第1・3クォーター		塩川太郎	藤本悠
講義内容	<p>4年間の集大成として、地域の諸課題を複眼的な分析を通じて発見し、芸術文化及び観光を生かした新たな価値創造や地域の活性化につながる方策を考える能力の修得を目指す。</p> <p>具体的には演習を通じて、諸課題の抽出・課題解決策の検討・発表・成果のとりまとめを行うため、専任教員による共同指導を原則とし、助言・指導・評価を行う。</p> <p>分野の異なる複数の教員が主指導と副指導を担当することにより、研究テーマの芸術文化分野と観光・経営分野との連携を確保する。</p> <p>また、年間を通じて3回のプレゼンテーション（構想発表会、中間発表会、成果発表会）を公開で実施する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化と観光を生かし、地域活性化につながる方策を考えることができる。 ・実現可能性と継続性、新たな価値創造を経済的便益につなげる視点を踏まえた事業計画を作成することができる。 			
授業計画	<p>第1クォーター</p> <p>1回 オリエンテーション</p> <p>2回 研究課題の選定①</p> <p>3回 研究課題の選定②</p> <p>4回 研究課題の情報収集①</p> <p>5回 研究課題の情報収集②</p> <p>6回 研究課題の理論構築①</p> <p>7回 研究課題の理論構築②</p> <p>8回 フィールドワーク調査方法の検討①</p> <p>9回 フィールドワーク調査方法の検討②</p> <p>10回 研究課題の構想発表①</p> <p>11回 研究課題の構想発表②</p> <p>12回 ステークホルダーからのヒアリング</p> <p>第3クォーター</p> <p>1回 フィールドワークによる解析①</p> <p>2回 フィールドワークによる解析②</p> <p>3回 研究結果の中間取りまとめ①</p> <p>4回 研究結果の中間取りまとめ②</p> <p>5回 研究課題の中間発表①</p> <p>6回 研究課題の中間発表②</p> <p>7回 研究成果のレフレクション①</p> <p>8回 研究成果のレフレクション②</p> <p>9回 研究成果のフィードバック（社会還元と政策提言）①</p>			

	<p>10回 研究成果のフィードバック（社会還元と政策提言）②</p> <p>11回 研究課題の成果発表①</p> <p>12回 研究課題の成果発表②</p>
事前・事後 学習	あらかじめ担当教員が指示した資料を読み込み、疑問点や発言内容を整理しておくこと。
テキスト	事前に適宜指示する。
参考文献	事前に適宜指示する。
成績評価 の基準	<p>・年間を通じて3回のプレゼンテーション（構想発表会、中間発表会、成果発表会）を実施し、専任教員による合議制での評価（50パーセント）</p> <p>・研究成果の正副指導教員による事業計画等の評価（50パーセント）</p> <p>評価にあたっては、次の2点を重視する。</p> <p>① 芸術分野の研究課題においては、観光・経営分野の視点が反映・応用されているか、他方、観光・経営分野の研究課題においては、芸術文化分野の視点が反映・応用されているか。</p> <p>② 事業計画の実現可能性と継続性、新たな価値創造を経済的便益につなげる視点が反映・応用されているか。</p>
履修上の注意 履修要件	特になし。
実践的教育	該当しない。
備考欄	